

平成27年7月15日

県内NPO法人と協働したCSRの取組みについて ～使用済み蓄電池が「オフグリッド」の取組みに活用されます～

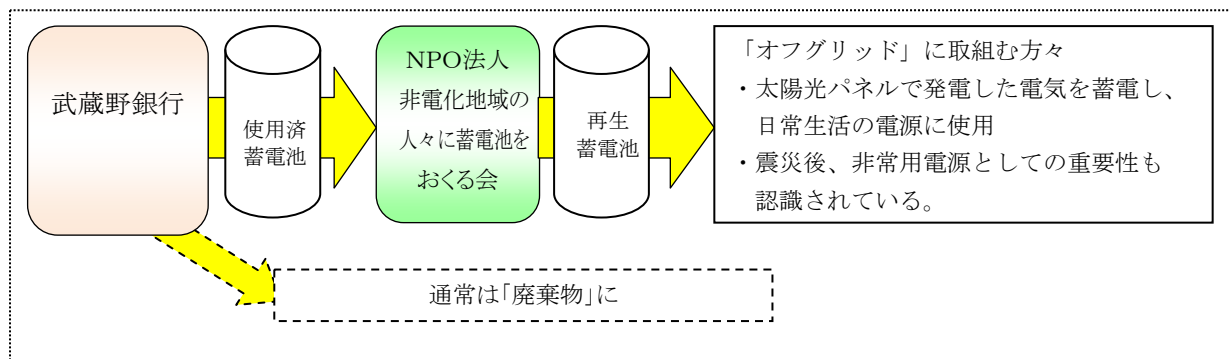
武蔵野銀行(頭取 加藤喜久雄)では、CSRの一環として、埼玉県内のNPO法人 非電化地域の人々に蓄電池をおくる会(鶴ヶ島市、代表理事 鈴木一郎)と協働し、使用済み蓄電池を有効活用する取組みを実施しますのでお知らせします。

NPO法人 非電化地域の人々に蓄電池をおくる会が、当行の使用済み蓄電池(全店で使用した蓄電池、計107個)を引き取り再生を施します。再生された蓄電池は、太陽光などで発電した電気を蓄電し電源を賄う「オフグリッド」(電気の地産地消)に取組む方々が活用していきます。

なお、本取組みは、平成26年7月に締結した埼玉県との「共助社会づくりのための協力に関する協定」に基づいて実施し、埼玉県の「共助の取組マッチング事業」(社会の課題解決に取組むNPO法人等と社会貢献意欲のある専門家や企業を繋ぐ事業)に協力するものです。

今後も当行では、地域に根ざす企業市民として、持続可能な社会の形成推進に貢献する取組みを積極的に行ってまいります。

<本取組みの概要>



<「NPO法人 非電化地域の人々に蓄電池をおくる会」について>

- ・使用済み蓄電池を、国内のデータセンターや通信事業者から引取り再生、「オフグリッド」に取組む方々に安価で頒布しています。
- ・また、震災被災地の非常用電源として、再生蓄電池を送り届ける事業を他の県内NPO法人と連携し、実施しています。

以上

報道機関からのお問い合わせ先
総合企画部 松本 小池
TEL: 048(647)2718

